



村章

広報

なまじん

毎月1日発行

1990年

2月

No. 171



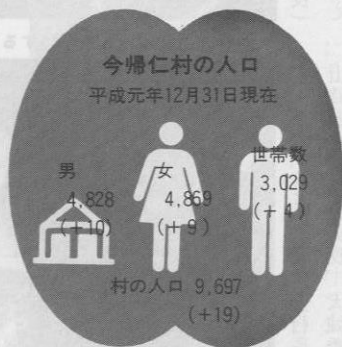
サトウキビの刈り取り作業をする人たち

今期のキビは豊作型

サトウキビ畑では、農家の人たちが収穫作業に大わらわ。家族やグループを組んで刈り取る姿があつちこちで見られる。

昨年はこれといった台風の襲来もなく降雨も比較的順調にあつたので、キビが大人の背丈をゆうに越える成長をみせ、太陽光を受けて銀色の穂が風にゆらいでいる。

本村の今期のサトウキビの予想収穫量は概ね三七、〇〇〇トンで昨期実績の三五、〇〇一トンを五・一％上まわる予想。ところがキビ作農家が高齢化したうえ、他産業に人手がさかれるため、人手不足が悩みのたねだという。キビ収穫の機械化の実現が早くなることを農家は望んでいる。





▲多数が出席して開かれた成人式

▼式辞を述べる西島教育長

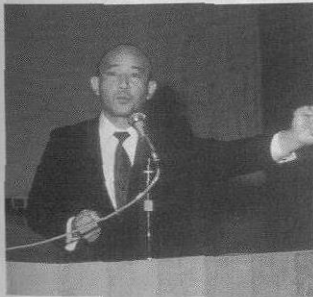


あいさつに立った主催者の西島

式は、村歌斉唱ではじまり、
 当日は好天にも恵まれ、きらびやかな振り袖や紋付き羽織、スーツをまとった男女が早々と入場。華やかな雰囲気にも包まれた。

今年成人式を迎えたのは、人類が始めて月に降り立った昭和四十四年の四月二日から四十五年四月二日生まれの若者で、村内では百三十七人（男七十人、女六十七人）が対象。なお、県内ではおよそ一万五千六百人（男、七千九百人、女七千七百人）で、全国では、約百八十八万人（男九十六万人、女九十二万人）が社会人としての新たな第一歩を踏み出した。

▼記念講演に熱の入る佐久本先生



精光選管委員長のあいさつに続

意と謝辞を述べた。また、上間の空手人生を通して学んだ七つの教訓について述べ、人生は一日一日の積み重ねであるから自分の可能性に向かって努力せよと結んだ。

これに答え、新成人を代表して与那さよりさん（天底一六二）は「皆さんの期待に応え得るよう誠意を持って明るく平和な社会建設に努めていきたい。」と決意と謝辞を述べた。また、上間精光選管委員長のあいさつに続き、来賓として上間博安村長、山城辰雄村議会議長、大城秀昭県議会議員、大城隆徳村青年会長もそれぞれ激励のあいさつをおくった。

前途洋々、明るい希望と人生への期待に胸ふくらませての大人への旅立ち、二十一世紀の舞台狭しと大きく翔いてほしいもの。

②創意工夫を凝らせ ③チャレンジ精神は旺盛であれ ④物事はすぐに妥協せずやり通せ ⑤失敗を恐れるな ⑥主体的であれ ⑦人生ゼロが百であれ（中途半端なことはするな）と自らの空手人生を通して学んだ七つの教訓について述べ、人生は一日一日の積み重ねであるから自分の可能性に向かって努力せよと結んだ。

式の後には、空手道で世界を七度制覇した佐久本嗣男先生（浦添高校教諭）による「チャレンジする人生」と題した記念講演が行われた。先生は講演の中で若者よー①大きな目標を持って

大人（二十歳）になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励まそうと「平成二年村成人式」が一月四日午後一時半から村コミュニティセンターで行われた。

華やかに新たな旅立ち
 自覚と責任をもつて

●今年の成人は男七十人・女六十七人

▼謝辞を述べる与那さん



▼記念品のアルバムを手にする新成人



＊新成人に贈る言葉＊

可能性の芽に向かって挑戦しよう

民法第三条は、「満二十年ヲ 祝日である「成人の日」は、次
以テ成年トス」と定めています。 代を担う若い皆さんへの熱い期
二十歳になった皆さん、今年 待がこめられているのです。
は新しい門出の年です。国民の おめでとう 二十歳！

私が成人式を迎えたのは三年前のことですが、つい昨日のような気がします。

振り返ってみれば、シンクロ界で認められるまでには、さまざまな試練と挫折がありました。三歳からスイミングスクールに入り、小学校四年でシンクロを始めたわけですが、そのときから、ひたすら描き続けた夢は、オリンピックに出場することでした。

「アメリカに行つて技術を身につけよう」

高校一年のときに、たった一人でアメリカに留学し、予想以上の評価を得て、タイトルも手にし、シンクロ・スイマーとしての感激を知りました。一年間の留学を終えて、帰国したときは、自信满满でした。ところが、ロス五輪代表

とができなかったのです。精神的に落ち込み、どこかへ逃げ出さずにはいられなくなつたのです。その結果、シンクロをやめたいと思ひました。

挫折を経験し 初心に帰る
挫折の日々に考えました。

若さとは。パワフルであること

シンクロナイズド・スイミング選手 小谷 実可子

を決める最終選考では、まったく評価を得ることができなかったのです。

それはとてもショックでした。

その後あせればあせるほど、気持ちは空回りし、肝心なところで緊張が途切れ、大失敗をする試合が続きました。そして、四年前の一九八六年の世界選手権にも出場するこ

「今までは勝手なことばかりを考え過ぎていた。私の好きだったシンクロは、どこへ行つてしまつたのだろうか。」

そこで、一生いてもいいくらい水の中が好き、そして泳ぐことが好き、という、自分の中の素直な気持ちに立ち返ろうと決心しました。そして、精神的にもろく、甘すぎた自

分を反省し、その後は初心に帰つて、基礎の地味な練習に一年半をかけました。

この時期に身につけた技術的な面での安定感が、心にゆとりをもたらしてくれたのか、周囲の人たちからも、たくましくなつたといわれるようになり、ソウルへの道が開けたのです。

才能を信じて 現実の力に変えていく

若さというのは、パワフルであることだと思ひます。そして可能性の芽に向かって挑戦することだと思ひます。そのためには、自信をもつことです。しかし、あまりに自分

を過信しては、可能性はかえつて閉ざされるような気がしてなりません。小さな自信を積み重ねてこそ、自分の可能性が根を張つたものになるのではないのでしょうか。

平穩な人生を、のほほんと送りたいのなら、挑戦も挫折も必要ないでしょう。しかし、何かを自分の手でつかみ取たいのなら、自分の才能を信じて、それを現実の力に変えていくことだと思ひます。

「いっしょけんめい」これが私の一番好きな言葉です。でも、ただがむしゃらに頑張るといふのではなく、一つの目標を決めたら、たとえどんな苦境になつても、心の中にその思いを燃やし続けて生きていきたいと思ひています。成人となられたみなさん、おめでとうございます。

(談)

へこたに・みかこ



二月十八日は衆院議員総選挙です(もれなく投票を！)

90年代に向け 村の発展を誓う

新年の集いに大勢が出席

今帰仁村新春の集いが一月四日午後四時から村コミュニティセンターで開かれ、約二百人の村民らが新年のあいさつを交わしながら九十年代に向けての誓いを新たにしていた。

村の議会議員や各種委員をはじめ、商工会員、老人会、婦人会、区長、役場職員など多数が出席して開かれた集いは、野村流古典音楽保存会と同協会のメンバーによる三味線と琴の調べで幕開け。主催者の上間博安村長のあいさつのあと、山城辰雄議長の音頭で乾杯。村の発展を祈念した。



▲村発展を祈念して乾杯をする出席者たち

あいさつに立った上間村長は「九十年は色々な面で村にとつての節目の年です。午年にあやかり飛躍の年になるように頑張つて、うるおいとやすらぎのある村にしていきたい」と述べた。また、大城秀昭県議会議員も「北部地域の発展のために全力を尽くしたい」と決意を新たにあい

さつした。余興では、村婦人会による「かぎやで風」「祝賀の舞い」が披露され場内から大きな拍手がおこられた。出席者は今年もよろしくと互いにこぼしをかけあい、名刺を交換したり、新春の杯を酌み交わしながらなごやかに新春を祝った。

掛け声も勇ましく

熱戦を展開

第五回村剣道選手権大会



「メイン、ドウ」―村内の豆剣士をはじめ、中学生、成年を対象にした第五回今帰仁村剣道選手権大会（主催・村体協・伊集一隆会長）が十二月十七日午後一時から今帰仁小学校体育館で行われ、約百人の剣士が参加した。

同剣道大会は、明るい健全なスポーツとしての剣道の普及と技術の向上を図り、社会人と青少年の交流を通して健全な青少年を育くむことを目的に、村剣道教室、国頭郡剣道連盟、村教育委員会が後援して毎年開かれているもの。

試合は各級ごとに競技形式と試合形式によって行われ、特にチビツ子剣士たちは掛け声も勇ましく竹刀を振るい、熱戦を繰り広げた。優勝者は次のとおり。

- 十級の部―松田悠子 九級の部―諸喜田亮 八級の部―大城利之 七級の部―宮里伸吾 六級の部―津山嘉都真 四級高学年の部―山の川勝裕 四級の部―内間貴之 二―三級の部―仲宗根光 中学生の部―澤岬盛也

成年の部―与那嶺新

大会終了後は、村剣道教室父母の会（玉城光盛会長）の計らいで平成元年の稽古納めが行われ、指導者の労をねぎらうとともに子どもたちを激励した。

なお、剣道教室（与那嶺清治室長）では新入会員（一般・チビツ子）を募集しています。あなたも挑戦してみませんか。連絡先電話 五六―二二五六（役場経済課内）

▲真剣に竹刀を振る豆剣士たち



湧川清栄氏が講演

村に書籍 1518 冊を寄贈



▲講演をする湧川氏

勢理客出身でハワイに在住、県人会結成やホノルル日本総領事館顧問などを努めるなど各方面で活躍され、大切な蔵書を村の子弟の勉学や研究に役立ててほしいと寄贈された湧川清栄氏ご夫妻がこのほど四年振り二度目の郷里今帰仁訪問をされた。ふるさとのためになればと十二月十五日、村中央公民館講堂で「外国からみた沖繩の展望」とのテーマで講演をされた。

湧川氏は、ハワイ渡航やハワイでの生活、第二次世界大戦時の日本人抑留の経験を通して学んだ事柄やこれからの国際社会での沖繩のあるべき姿、そして北部への大学誘致運動をしていることなどについて講演され、そ

▼湧川氏の講演に聞き入るみなさん



の中で「沖繩にある米軍基地の撤去が沖繩の繁栄につながる。経済的な繁栄も平和あつてのもの。」と強調し、参加した議員、行政委員、役場職員らに深い感銘を与えた。

なお、講演会に先立ち、貴重な蔵書を村に寄贈したお礼を込めて先生の意に添うように大切に活用しますと上間博安村長から同氏に感謝状が贈られた。

湧川清栄氏略歴

○明治四十一年
字勢理客で出生。十二歳でハ

湧川氏寄贈書籍内訳

| 日本関係、その他 | | |
|----------|--------|--|
| 書籍分類 | 冊数 | |
| 総記 | 39冊 | |
| 自然科学 | 28冊 | |
| 歴史 | 104冊 | |
| 文学 | 393冊 | |
| 日本語 | 96冊 | |
| 本 | 31冊 | |
| 芸術 | 14冊 | |
| 社会学 | 20冊 | |
| 教育 | 37冊 | |
| 産業 | 97冊 | |
| 思想 | 36冊 | |
| 宗教 | 35冊 | |
| 基督教 | 30冊 | |
| 伝記(自伝など) | 40冊 | |
| 戦争 | 194冊 | |
| 地理 | 14冊 | |
| 政治 | 14冊 | |
| 法律 | 52冊 | |
| 経済 | 6冊 | |
| 移住 | | |
| ハワイ | | |
| その他 | | |
| 合計 | 1,266冊 | |

沖繩関係

| 書籍分類 | 冊数 |
|------|------|
| 総記 | 38冊 |
| 自然科学 | 1冊 |
| 歴史地理 | 80冊 |
| 言語 | 5冊 |
| 文学 | 12冊 |
| 芸術 | 14冊 |
| 産業 | 7冊 |
| 思想宗教 | 7冊 |
| 社会科学 | 88冊 |
| 合計 | 252冊 |

ワイに渡航

○昭和六年
ハワイ大学(政治学専攻)首席で卒業、大学院に進む

○昭和十五年
東京大学法学部政治学に留学

○昭和十八〜二十年
沖繩県人会結成「県人史執筆」

○昭和二十一年
シカゴ大学、ハーバード大学で日本語を教える

○昭和二十二年
「日本の小作制度」執筆

○昭和二十三年
琉球大学創設運動を行う

○昭和五〇年〜六十二年
日本国ホノルル総領事館顧問

気軽に相談を

人権擁護委員決まる

私たちが今帰仁村の人権擁護委員として、次の四人の方が法務大臣から委嘱されました。

- 村上仁賢(兼次九四四番地)
- 比嘉盛一(今泊二〇〇番地)
- 島袋輝志雄(諸志一七一番地)
- 諸喜田スエ子(仲宗根三三九番地)

人権擁護委員は地域の人々の人権を守り、自由人権思想の普及、高揚に努めるほか、日常生活における次のような相談にも応じています。(相談は毎月十日十時から村コミセンで行われています。但し、日曜日、祝祭日の場合はその翌日が相談日になります。)

人権問題―土地、金銭貸借、法律問題

戸籍、登記その他

また、那覇地方法務局名護支局では、毎日相談に応じています。相談は無料で秘密は守られます。お困りの方は気軽に相談して下さい。



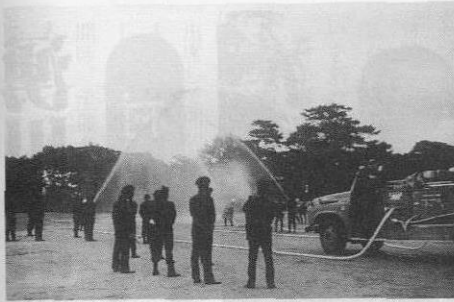
諸喜田スエ子さん



島袋輝志雄さん

なお、人権擁護委員の委嘱状交付式は、十二月十一日村役場で行われ、山口俊臣名護支局長からそれぞれ委嘱状が手渡されました。

電話 五二二七二九九



▲四年ぶりに五色操法も披露された

一年間の無火災、無災害を祈念する年頭恒例の今帰仁村消防出初式が一月六日午前七時から村営グラウンドで行われた。早朝のサイレンの合図により、本今消防今帰仁分遣所の職員十人、村消防団員三十人が勢揃いした。

「防火はみんなの心がけ次第」



▼消防協会から二人が表彰



村議会議員、区長らも参加して今年も防火に努めることを誓いあった。始めに上間博安村長、伊集一隆助役、池原善治収入役、西島一將教育長、与那嶺雄源消防団長、金城勲分遣所長らによる職員、団員の服装・機具点検が行われ、つづいて赤や緑色に着色した水を放水する五色操法などが披露され参加者の拍手を浴びていた。また永年村消防団の発展に貢献してきた金良敏夫（仲宗根二四九の五）、平良正利（仲宗根二九七の五）の二氏が県消防協会から表彰された。

ちなみに、昨年一年間の火災発生件数は七件で、損害額は一千七百二十二万円に上った。火災の原因としては、火遊び、タバコ火の不始末、無断火入れなどとなっており、火災についての認識を深め、大切な生命財産を火にもついでいられないようにしてほしいと関係者はよびかけている。

国際結婚・こんな点が変わります

不平等撤廃へ法例改正

国際化の進展に伴い、最近では国際結婚が増えています。ところが、これまでは国籍や性別の違いによって、例えば離婚のときなど、男性側の国の法律だけが適用され、女性側の法律は考慮されていませんでした。そこで、法律の適用上でも男女平等に扱うことにしようと、法例（戸籍法）の一部が改正され、平成二年一月一日から施行されました。どんな点が変わったのか、そのあらましを見てみましょう。

1 協議離婚が可能に

国境を越えてめでたくゴールインしたものの、夫婦仲がうまくいかず、結局は離婚というところもないではありません。その場合、離婚については、これまで「夫」の本国法によるものときされてきました。

例えば、日本人女性と外国人男性のカップルの場合、外国人男性の本国法によつては離婚できないケースもあったわけですが、こんな場合も、日本人女性が日本に住所があれば、今回の法例改正で日本の法律が適用されることになり、話し合いによる協議離婚が認められることになりました。

2 親権者も平等に

さて、離婚した方がいいが、子供をどちらが養育するか、つまり親権者についてはどうでしょうか。

これまでは原則として「父」の本国法が適用されました。このため、父が外国人で母が日本人の場合、外国法によつては、日本人の母が親権者になることができないう場合がありました。ところが改正によつて、「子の本国法」が適用されることとなり、日本人の子については、日本の法律が適用されることになりました。

でき、日本人の母親が子を手元において、育てることも可能になります。

昭和六十二年の日本人と外国人の国際結婚は約一万五千組に上ります。このうち日本人女性の場合は約四千四百組。今回の改正は、日本国籍を有する子供を持つ日本人の母親にとつて、朗報といえましょう。

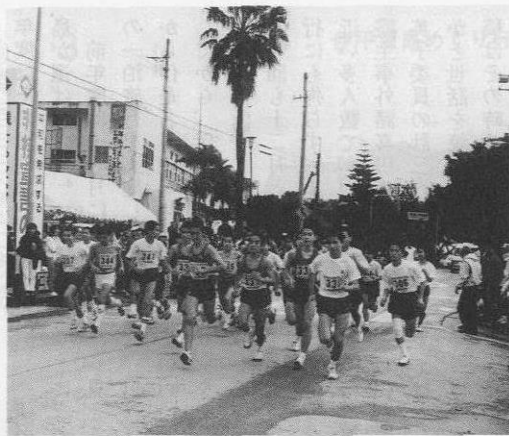
3 養子縁組はより簡単に

このほか、国際養子縁組についても、これまでは養親、養子の本国法が複雑にからみ、養子縁組の成立を難しくしていましたが、改正により養親の本国法に一本化され、分かりやすく、また、簡単になりました。



入賞おめでとう 部門別3位入賞者と記録

| | | | | | |
|--------------|---------|---------|---|--------|--|
| 小学生3年男子(1KM) | | | | | |
| 1位 | 上間 勲 | 兼 | 小 | 3'48" | |
| 2位 | 島袋 正幸 | 天 | 小 | 4'00" | |
| 3位 | 山城 利幸 | 今 | 小 | 4'06" | |
| 小学校3年女子(1KM) | | | | | |
| 1位 | 山城 麻衣子 | 今 | 小 | 4'29" | |
| 2位 | 仲村 寿賀子 | 天 | 小 | 4'32" | |
| 3位 | 内間 エリ | 兼 | 小 | 4'34" | |
| 小学校4年男子(1KM) | | | | | |
| 1位 | 山城 大樹 | 今 | 小 | 3'30" | |
| 2位 | 親川 慎吾 | 今 | 小 | 3'33" | |
| 3位 | 大城 隆世 | 今 | 小 | 3'33" | |
| 小学校4年女子(1KM) | | | | | |
| 1位 | 島袋 ゆり | 兼 | 小 | 4'16" | |
| 2位 | 津山 宏子 | 今 | 小 | 4'19" | |
| 3位 | 湧川 枝美 | 天 | 小 | 4'21" | |
| 小学生5年男子(1KM) | | | | | |
| 1位 | 真喜志 健 | 天 | 小 | 3'42" | |
| 2位 | 城間 勇次 | 今 | 小 | 3'45" | |
| 3位 | 田港 朝次 | 今 | 小 | 3'50" | |
| 小学校5年女子(1KM) | | | | | |
| 1位 | 与那嶺 惠 | 天 | 小 | 4'01" | |
| 2位 | 福 利香子 | 古 | 小 | 4'05" | |
| 3位 | 玉城 理江 | 古 | 小 | 4'10" | |
| 小学校6年男子(1KM) | | | | | |
| 1位 | 上間 卓 | 大 | 北 | 3'21" | |
| 2位 | 与那嶺 透 | 兼 | 小 | 3'24" | |
| 3位 | 大城 睦 | 今 | 小 | 3'25" | |
| 小学校6年女子(1KM) | | | | | |
| 1位 | 大城 亜紀 | 天 | 小 | 3'57" | |
| 2位 | 仲宗根 千春 | 湧 | 小 | 3'59" | |
| 3位 | 兼次 由美 | 古 | 小 | 4'05" | |
| 中学校男子(3KM) | | | | | |
| 1位 | 新城 芳光 | 今 | 中 | 10'11" | |
| 2位 | 上原 義文 | 今 | 中 | 10'28" | |
| 3位 | 山入端 康秋 | 今 | 中 | 10'28" | |
| 中学校女子(2KM) | | | | | |
| 1位 | 瑞慶山 利江子 | 今 | 中 | 8'11" | |
| 2位 | 大城 亜里紗 | 今 | 中 | 8'11" | |
| 3位 | 福 真理代 | 古 | 中 | 9'26" | |
| 一般男子(10KM) | | | | | |
| 1位 | 浜里 正巳 | オリオンビール | | 35'50" | |
| 2位 | 宮里 晃 | 役場 | | 35'50" | |
| 3位 | 新城 圭司 | 沖尚 | | 35'57" | |
| 30代(5KM) | | | | | |
| 1位 | 平安山 英幸 | 湧川 | | 19'26" | |
| 2位 | 玉城 光盛 | 教委 | | 21'20" | |
| 3位 | 大城 清彦 | 湧川 | | 21'49" | |
| 40代(3KM) | | | | | |
| 1位 | 新城 正男 | 天底 | | 10'39" | |
| 2位 | 松田 一彦 | 天運 | | 14'10" | |
| 3位 | | | | | |
| 50代(2KM) | | | | | |
| 1位 | 与那嶺 雄源 | 仲宗根 | | 14'30" | |
| 2位 | | | | | |
| 3位 | | | | | |
| 50代(5KM) | | | | | |
| 1位 | 稲嶺 盛吉 | 湧川 | | 25'19" | |



▲ピストルの合図で一斉にスタートする中学男子
「第十二回今帰仁村新春ロードレース大会(村体協・伊集一隆会長主催)が一月二日午前十時から役場前をスタート、ゴール地点として行われた。大会は、長距離競技人口の拡大と村民の体力向上、融和を図る目的で開かれてはいるもので、今大会には小学一年生から

新春に心地良い汗流す

第十二回新春ロードレース大会

最高齢者(六十歳の稲嶺盛吉さんまで、およそ二百五十人が出場し、全員無事に完走した。子ども達は沿道の声援に励んで力強い走りを見せ真剣そのもの。大会の記録は表のとおり(三位まで)。

なお、参加者全員に参加賞が、小学生の一位から六位までにメダルが、中学以上の入賞者には盾が贈られた。



村営住宅にあき家が 発生した場合の入居 候補募集のお知らせ

- 1 受付期間**
平成二年二月十九日から二十三日までの間役場総務課で受付(募集定員に満たない場合は随時受付ます)
- 2 提出する書類**
①住宅入居申込書 ②所得証明書(農業・自営業者の場合
は平成二年度の所得申告書の写) ③納税証明書(村民税、国民健康保険税、国民年金)
④扶養証明書 ⑤資産証明書
⑥住民票謄本 ⑦その他
※所得証明については、十八歳以上の同居をしようとする親族全員の証明が必要です。
- 3 選考方法**
書類審査及び実態調査を行い、募集戸数を超える場合は抽選を行なう。
- 4 募集戸数**
◎兼次団地一戸 ◎与那嶺団地一戸 ◎平敷団地二戸 ◎天底団地二戸 ◎勢理客団地一戸 ◎湧川団地一戸
- 5 有効期間**
平成二年四月一日から平成三年三月三十一日まで



伊平屋島 一泊旅行記

一、はじめに

例年村教育委員会の計画する高齢者教室（運営委員長嘉陽宗哲氏）の年間行事の中で、一泊研修旅行が組まれるが、平成元年度はその目的地として伊平屋島が選ばれた。

前年度は十一月に伊是名島への一泊旅行を実施した。運天港から伊是名へのフェリーが就航してから、伊是名・伊平屋は共に身近かに感じられる昨今である。今回も十二月という冬の旅行にも拘らず、参加者は六十人近い多人数で、引率者は玉城光盛主事外諸喜田スエ子・喜城英子委員の計三人がついて、何かと世話を焼いて下さった。本稿はその時の一会員の参加記録である。



今泊老人クラブ
上 間 政 春

中央公民館を出発した一行は、一時過ぎには本部新港の待合室に集結し、出港時間を待っていた。午後一時の出港まではかなりの時間の余裕があるので、みんな持参した弁当で昼食を済ました。私は時間つぶしに待合室の外に出てみた。

伊平屋丸は東側岸壁に横付けになって、白いスマートな姿を見せている。その左後方には橋桁の高い瀬底大橋が中央に弧を画いて浮上って見える。あの下をくぐって行くのだ。南岸壁には外国船が一そう横付けになっていて、附近には数人の釣り人の姿も見える。空を見上げると、晴れ渡ってはいいるが、かなり強い北風に雲が流れていく。今日のはかなりの風波を覚悟しなければなるまい。「天気晴朗なれど波高しだな」と私は心に思った。

私は先にもらってあったトラベルミンを一錠グツと飲みこんだ。
伊平屋丸は一時かききりに出港した。小型ながら近代式のフェリー船だけあって、船室は清潔

で、速力も早いようだ。始め中央前方に席を取ってあった私は、右舷側に席を移した。ここからだと、本島の陸地がよく見える。瀬底大橋をくぐり、緑や赤色のパイの間を抜けて、海洋博記念公園のアク

アポリスの側を通っていく。船の速力がずんずん増してきた。二、三〇分位して備瀬崎の燈台近くになると、案の定、船が大きくゆれてきた。

ここは伊江島と備瀬崎の間の潮流の早い難所である。

▼伊平屋丸をバックに記念撮影



ら外を眺めると、白い波がしらが次から次へと続いてくる。大きなうねりが音を立てて船体にぶつかり、高い波しぶきになって砕け散っている。

この分では甲板に出ることもできない。海上には他の船影は全然見つからない。暫く船の大きなゆれに堪えていると、やがて船は例の難所を脱したらしく、幾分ゆれがはずまって来た。この調子でいくと、あと一時間余りもすれば伊平屋に着く。私たちが

三、島の概要

イヘヤドウの荒波を突破して、伊平屋丸は予定どおり三時すぎに前泊港に着いた。伊平屋村の象徴とも言われている例の虎頭岩がすぐ目の前に迫ってきた。上陸した一行は、宿泊所別に二隊に分かれて、迎えのマイクロバスに分乗した。これから早速島内一周の観光に向うのだ。案内者は車の運転を兼ねた宿泊所の方であった。

1 島の概要

伊平屋島は本部からは四八・五島の距離にあつて、周囲約三十二島の細長い島で、行政区は五ヶ字、人口約一四〇〇人の離島である。伊平屋島と野甫島の二島から成り立っているが、今では両島は野甫大橋によってつながっている。(海中道路及び橋の長さ計約八五〇m)。中央に賀陽山(標高二九七m)外、二〇〇m級の山の数が峰連なっている。

2 行程

私たちは前泊港の棧橋から次図に示す矢印の方向に約二時間かけて島を一周して見学した。

心豊かでたくましい子を育てよう!



会員ら四百八十人が討議

名護地区PTA研究大会(今帰仁大会)

第四分科会 教育問題

1テーマ

児童・生徒の学力向上の方策と推進を考える

第五分科会 広報活動

1テーマ

会員意識を高め、連帯感を強める広報活動を考える

2討議内容

(1)基礎学力を高めるための取り組み

(2)学校教育の充実強化と家庭教育のあり方

(3)学習意欲と学習態度の育成のあり方

2討議内容

(1)広報活動の役割と課題

(2)魅力ある広報紙づくりのあり方

(3)広報紙発行の問題点と対策
午後からは全体会議が行われ分科会ごとのまとめの報告や九州PTA大会の参加報告が行われ

記念講演

また県教育委員会の津留健二次長をお招きして「今・学校、家庭で大切なことは」とのテーマで記念講演が行われた。

成について学習した。

大会はまず午前中、次の五つの分科会に分かれ、それぞれのテーマごとに事例発表や討議を重ね意見交換した。

第一分科会 組織運営

1テーマ

PTA活動を活発にするための組織運営を考える

2討議内容

(1)PTAの組織と活動のあり方

(2)父母と教師と地域の連携を図る組織運営のあり方

(3)学習するPTAとしての組織運営のあり方

第二分科会 家庭教育

1テーマ

心豊かなたくましい子に育てる家庭教育を考える

2討議内容

第三分科会 健全育成

1テーマ

心豊かなたくましい子どもを育てるPTA活動を考える

2討議内容

(1)心身ともにたくましい子どもを育てるために地域活動はどうあればよいか

(2)よい環境づくりにPTAはどうあればよいか

(3)青少年の問題行動とPTAの取り組みはどうあればよいか

▼全体会議の後は湧川校区の皆さんによる七福神でリラックス



▼講演をする津留先生



講演の中で先生は、急速に進展している今日、子どもたちにとって大人は化石といわれるほど懸け離れた存在になっている。したがって、子どもたちをどう理解し、家庭や学校で互いの距離(隔たり)を縮めていくかを考えて行動することが大切であると述べ、

①命(自分・他人・動植物・自

然など)を大切にすること

②学ぶ力を身につけさせる

③早く自分自身で進路を決めさせ、その実現のための努力をさせるための手解きをしてやる

ことが親や教師の役目であろうと語った。

また、親や教師が児童生徒に接していく実践姿勢の大切さを強調され、

①ひとり一人の子どもの存在感を大切に

②子どもの将来への可能性を大切に

③親や教師が共に学ぶ姿勢をしめし共に育つ

ことをわすれてはならないと体験や実践例をあげながらお話された。

そして家庭、学校、地域の部分が充実する中で必然的に相互の連携が生まれるものであり、これらのことが地域ぐるみで展開できれば、沖繩の子どもたちは大きく伸びる。行政の立場からもこれらの取り組みを強化し、将来、沖繩に生まれてよかった」「沖繩で教育を受けてよかった」と言われる地域文化を大切に継承していきける教育をして、子ども達が夢をもって二十一世紀をあるいは国際社会を生きていけるようにしていきたいと結んだ。なお大会では、これまでPTTA活動に功績のあった二十二

が表彰され、本村からも写真の四人の方が表彰された。

表彰された皆さん



今中PTA副会長 照屋安子さん



前湧小中PTA会長 津波古勲さん



前古小中前PTA会長 照屋林勇さん



湧小中PTA会員 嘉陽律子さん

村の自然・歴史・文化を紹介

なきじんのムラ・シマ展

村の自然と歴史と文化を紹介する「なきじんのムラ・シマ展」が十二月十六、十七日の両日、村コミュニティセンターで開催され、村内外から約四百人が訪れ賑った。

が見やすく、そして分かりやすく展示され、参観者は熱心にそれらに見入っていた。同展に訪れた人たちは、このような資料がよくも残っていたのだと感心した様子。

同展は、村教育委員会歴史資料館準備室が開いた初めての企画展で、準備室が保有する資料を通じて改めて村の歴史と文化について考えるところに、地域に埋れた歴史、文化の発掘を促がそうと開かれたもの。

なお、同展には、「ペリー提督遠征記」関係資料も展示された。

会場には、村内十九の区(字)ごとのコーナーが設けられ、それぞれの区の表記の変遷や集落の現況図や、昔の地籍図、今昔の写真パネルをはじめ各種資料

企画を担当した仲原哲吾さんは「これを機会に村民がもっともっとおらが村の自然と歴史、文化に興味を持っていただき、新たな資料発掘につながる情報を寄せてほしい。」と話している。

村歴史資料館準備室

電話 五六二二六四五

二六四七

▼熱心に展示物に見入る人たち



幼稚園入学生を募集

県立名護養護学校

沖繩県立養護学校では、平成二年度の幼稚園入学生を募集しています。

1 出願資格

平成二年四月一日で、満年齢が三歳、四歳、五歳になる精神薄弱児(弱視、難聴、肢体不自由、病虚弱、情緒障害、

2 募集定員 五人

言語障害を併せ持つ者も含む)

3 出願期間

入学願書の受付は平成二年二月十三日(火)から二月十五日(木)までの期間

※幼稚園では次の指導を行っていただきます。

①日常生活の指導 ②あそびの指導 ③養護、訓練

※幼稚園に関する概況説明、募集要項は養護学校のほか、村教育委員会・厚生課にもあります。

※その他、入学に関するお問い合わせは直接養護学校まで。

電話 五二一〇五〇五

五三二七六四三

▽問い合わせは一時半以降にお願いします。

民生児童委員と担当地区

| 氏名 | 住所 | 担当地区 | 電話 |
|-------|-----------|--------|---------|
| 上間花子 | 今泊3115 | 今泊(西) | 56-3628 |
| 上間政春 | 今泊151 | 今泊(東) | 56-2731 |
| 宮城春子 | 諸志25 | 兼次・諸志 | 56-3973 |
| 金城新治 | 与那嶺88 | 与那嶺 | 56-4774 |
| 田場盛松 | 仲尾次553 | 仲尾次 | 56-4050 |
| 平良清松 | 崎山626 | 崎山 | 56-4537 |
| 嘉数義子 | 越地123 | 平敷・越地 | 56-2713 |
| 玉城助一 | 謝名1198 | 謝名 | 56-2373 |
| 立津政好 | 仲宗根291-14 | 仲宗根(西) | 56-3335 |
| 松田千代 | 仲宗根188 | 仲宗根(東) | 56-2428 |
| 嘉陽宗栄 | 玉城13 | 玉城 | 56-3488 |
| 嘉陽宗平 | 呉我山421 | 呉我山 | 56-3143 |
| 伊佐トヨ | 湧川1728 | 湧川(西) | 56-4070 |
| 嘉陽宗三 | 湧川586 | 湧川(東) | 56-3102 |
| 伊是名ツル | 天底168 | 天底 | 56-3711 |
| 嘉陽富子 | 天底131 | 勢理客 | 56-2537 |
| 与那嶺安子 | 渡喜仁1132 | 渡喜仁 | 56-4753 |
| 長浜富美子 | 上運天475 | 上運天 | 56-3005 |
| 運天邦子 | 運天1062 | 運天 | 56-2261 |
| 金城栄 | 古宇利1496 | 古宇利 | 56-3124 |

お気軽に
ご相談を

私たちのムラの民生児童委員です 五人が退任・七人が就任

民生児童委員は制度創設以来、地域でくらしに困っている家族の自立更生を希い、あるいは児童生徒・青少年の健全育成のためにボランティア(無料奉仕)で活動しています。

本村の民生児童委員は表の方

々です。次のようなことなどで
お困りでしたらお気軽にご相談
下さい。

主な相談内容

1 老人福祉に関すること

- (1) 老人ホームへの入所
 - (2) ねたきり老人の介護問題など
 - 2 母子寡婦・父子に関する事
 - 3 心配ごと相談
 - 4 身体障害者福祉問題
 - 5 生活保護に関する事
 - 6 児童相談
 - (1) 非行相談
 - (2) 登校拒否など
 - 7 世帯更生資金借入相談
 - 8 高齢者居室整備資金借入相談
- なお、小浜孝子(湧川西)、金城福成(兼次、諸志)、山内祐子(与那嶺)、宮里政典(平



宮城春子さん

敷、越地)、仲宗根洋子(湧川東)の各氏が退任され、写真の方々が、十二月一日付で新しく民生児童委員に依嘱されました。退任された皆さん大変ご苦労さまでした。また新任の皆さんよろしくお願いします。

男女とも兼次Aが優勝 村小学生ホッケー大会

村内の小学生を対象にした村体協主催の「第六回村ホッケー大会」が十二月二十七日午前九時から村ホッケー場で男子一六チーム、女子一三チームが出場して熱戦が展開され、男女ともに兼次小Aが優勝した。

▼熱戦が繰り広げられた大会



対戦の結果は次の通り。
◎男子の部
優勝―兼次A 準優勝―兼次C
◎女子の部
優勝―兼次A 準優勝―兼次C
優勝―兼次A 準優勝―兼次C



嘉数義子さん

田場盛松さん

金城新治さん

与那嶺安子さん

嘉陽宗三さん

伊佐トヨさん

あなたの納税で
まちづくりは
進みます

村・県民税の
申告をお忘れなく



今年も村民税・県民税の申告をしていただく時期がまいります。

申告書は、原則として三月十五日までに村長に提出することになっていますが、納税者の便宜を図り期限内に申告を済ませていただくため、表のとおり各宇公民館で申告相談・受付を行います。みなさま方のご協力をお願いいたします。

申告書を提出しな ければならない人

- 平成二年一月一日現在今帰仁村に住所があり、次の①から⑧までのいずれかに該当する人。
- ① 営業、農業、その他事業を営んでいる人。
- ② 不動産収入（地代、家賃等）利子、配当金などの所得のあった人。
- ③ 給与所得者で、勤務先で給与から村民税、県民税が差引かれない人。
- ④ 給与所得者で、①から②の所得のあった人。
- ⑤ 給与所得者で、平成元年中に

退職した人。

⑥ 給与所得者で、雑損控除または医療費控除などを受けようとする人。

⑦ 給与所得者で、年末調整後に扶養親族等に異動のあった人。

⑧ 大工、左官、塗装工、土工、建築手伝などの日雇労働者で給与支払者から給与支払報告の提出がされていない人。

村・県民税申告日程

| 字 名 | 月 日 | 曜 日 | 時 間 |
|-------|-----------|-----|-------------|
| 今 泊 | 2月13日・14日 | 火・水 | 9:30~16:00 |
| 兼 次 | 13日 | 火 | |
| 諸 志 | 14日 | 水 | |
| 与 那 嶺 | 15日 | 木 | |
| 仲 尾 次 | 15日 | 木 | |
| 崎 山 | 16日 | 金 | |
| 平 敷 | 16日 | 金 | |
| 越 地 | 19日 | 月 | |
| 謝 名 | 19日 | 月 | |
| 仲 宗 根 | 20日21日 | 火・水 | |
| 玉 城 | 22日 | 木 | |
| 呉 我 山 | 22日 | 木 | |
| 湧 川 | 26日・27日 | 月・火 | |
| 天 底 | 28日 | 水 | |
| 勢 理 客 | 28日 | 水 | |
| 渡 喜 仁 | 3月1日 | 木 | |
| 上 運 天 | 1日 | 木 | |
| 運 天 | 2日 | 金 | |
| 古 宇 利 | 2日 | 金 | 10:00~16:00 |

笑顔で納めて
築こう豊かな我が郷土

申告に持参するもの

- ① 印鑑
- ② 給与所得者は源泉徴収票（ない人は給与支払者の給与支払証明書）
- ③ 営業、農業、その他事業所得の収支明細書
- ④ 不動産収入（地代、家賃等）の収支明細書
- ⑤ 利子、配当所得などの明細書

所得の申告を しませんと

- ⑥ 平成元年中に支払った生命保険料、国民健康保険税、国民年金保険料、農協共済、医療費等の領収証。
 - ⑦ 雑損控除のある人は消防署の証明書。
 - ⑧ 勤労学生の場合は在学証明書。
 - ① 役場の基準等で課税され皆さんに不利になる場合があります。
 - ② 証明等が発行できない場合があります。
- このようないことがありますのでご注意ください。

商工会青年部 が 表 彰

全国商工会
連合会長より

村商工会青年部（島袋健部長・部員数二十二名）が十一月二十四日NHKホールで開かれた第二十九商工会全国大会において全国商工会連合会長より優良青年部として表彰されました。

同青年部は、昭和五十三年に結成以来、商工会事業のほか、村内の美化事業や社会福祉活動（村社協への寄付）などを長年継続して実施している実績は大きく、表彰は、その功績が認められてのもです。

▲ 歴代部長と事務局職員たち



●村民カレンダー

1990年

2月

如月



| | |
|-------|--|
| 2/1 木 | ○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00) ○兼小DT |
| 2 金 | ○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00) ○古小中風しん・DT |
| 3 土 | ○おもちゃ図書館 (コミセン 9:00~12:00) ○新春もちつき大会 (コミセン 13:00~16:00) ○健康相談 (保健婦室 9:00~11:30) ○天小DT、湧小中DT・風しん |
| 4 日 | |
| 5 月 | ○ことばの教室 (コミセン 13:00~17:00) |
| 6 火 | ○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00) |
| 7 水 | ○心配ごと相談 (コミセン 13:00~17:00) |
| 8 木 | ○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00) |
| 9 金 | ○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00) ○安産教室・妊婦食実習 (中央公民館 13:00) |
| 10 土 | ○おもちゃ図書館 (コミセン 9:00~12:00) ○健康相談 (保健婦室 9:00~11:30) |
| 11 日 | ○建国記念日 |
| 12 月 | ○振替休日 |
| 13 火 | ○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00) |
| 14 水 | ○心配ごと相談 (コミセン 13:00~17:00) ○行政相談 (コミセン 13:00~17:00) ○リハビリ (コミセン) |
| 15 木 | ○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00) ○1歳6ヶ月健診 (コミセン 13:00) |
| 16 金 | ○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00) |

| | |
|------|---|
| 17 土 | ○おもちゃ図書館 (コミセン 9:00~12:00) ○健康相談 (保健婦室 9:00~11:30) |
| 18 日 | ○村庭球選手権大会 (北山高校 9:00) |
| 19 月 | ○ことばの教室 (コミセン 13:00~17:00) ○3歳児健診 (コミセン 13:00) |
| 20 火 | ○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00) |
| 21 水 | ○心配ごと相談 (コミセン 13:00~17:00) |
| 22 木 | ○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00) |
| 23 金 | ○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00) |
| 24 土 | ○おもちゃ図書館 (コミセン 9:00~12:00) ○社会教育振興大会 (コミセン 13:00~17:00) ○健康相談 (保健婦室 9:00~11:30) |
| 25 日 | |
| 26 月 | ○ことばの教室 (コミセン 13:00~17:00) ○3歳児健診 (コミセン 13:00) |
| 27 火 | ○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00) ○ディケア |
| 28 水 | ○心配ごと相談 (コミセン 13:00~17:00) ○行政相談 (コミセン 13:00~17:00) ○2歳児歯科検診 (コミセン 13:00) ○リハビリ (コミセン) |

成人病予防週間

—2月1日から2月7日まで—

名護保健所では同期間内に

- ①血圧 ②胸部レントゲン ③尿検査 ④血液検査
- ⑤歯科検診 ⑥胃検診などを無料で実施していますので気軽に受診して下さい。

※食事制限等詳しいことについては名護保健所にお問い合わせ下さい。

電話 52-2714

第九回 庭球選手権大会 あなたも出場しませんか

村体協では、来る二月十八日(日)午前九時より北山高校において「第九回軟式庭球選手権大会」を開催します。(雨天の場合は湧小中学校体育館)

大会は、庭球の底辺拡大と技術の向上並びに村民の親睦を図る目的で行われるもの。出場資格は、村民と村内に職場を有する方(高校生チームは村出身を一人含む)で、競技は①中学一年、二年、三年の部男女、②高校生の部、③一般の部、④壮年の部(男・40歳以上、女、35歳以上)の個人戦、ダブルスとなっています。

申し込み締切は、二月十四日(水)午後五時までで、体協事務局(城間肇・電話五六一一〇五、仲村あゆみ・電話五六一一〇二)へお申し込み下さい。

